

世田谷区立桜丘中学校 音楽科 年間指導計画

中学生の音楽 2・3 年上 (教育芸術社)

年間授業時数 35

学年 2 学年

学級 A～F 組

1. 学習の到達目標

| | |
|-------------|--|
| 学習の到達目標 | <p>○曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>○曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>○主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p> |
| 使用教科書、副教材など | 「中学生の音楽 2・3 年上」(教育芸術社) 「中学生の器楽」(教育芸術社) 「Joyful songs」(新学社) |

2. 学習指導計画及び評価方法

| 学期 | 月 | 題材タイトル | 学習のねらい | 活動内容 | 評価の観点のポイント | | |
|----|---|-------------------------------|---|---------------------------------|---|--|--|
| | | | | | 知識・技能 ○重点 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 ・粘り強い態度で、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組みようとしている。 |
| 1 | 4 | イメージを生かしてリズム・音色・強弱を工夫して曲をつくらう | <p>●音楽を形作っている要素を理解する。</p> <p>●音素材の特徴及び音楽の構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。</p> | 音符や休符の種類の理解 ボディーパーカッションによる創作 | <p>[知]音素材の特徴及び音の重なり方、変化、対照などの構成上の特徴を理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p> <p>○校歌歌詞 ○音符・休符の名前</p> | 音色、リズム、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 | 音符・休符によるリズムやボディーパーカッションによる様々な音色に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 |

| | | | | | | | |
|---|-----|--------------------------------------|--|--|---|---|--|
| 1 | 4 | 「夏の思い出」曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう | ●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 歌唱（共通教材）「夏の思い出」を通して「心の歌」に触れ我が国の音楽文化に親しみを持ち、愛着を持つて歌う。 実技テストの実施 | [知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ○尾瀬 ○江間章子 ○中田喜直 | 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 |
| | 5・6 | 「フーガト短調」曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう | ●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 「フーガ」の構成について理解する。 作曲家バッハについて理解する。 パイプオルガンを知る。 | [知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○ヨハン・セバスティアン・バッハ ○フーガ ○パイプオルガン ○バロック時代 | 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |
| | 7 | 「リコーダー」楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう | ●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。 | タンギング、奏法の復習と発展的な楽曲への挑戦。息のコントロール。 | [知] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ○タンギング（４種） ○運指 | 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 | 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 |

| | | | | | | | |
|---|-------|---------------------------------------|--|---|--|--|--|
| 2 | 9 | 「サンタルチア」曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう | ●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | イタリア語の歌曲に挑戦する。日本語歌唱との違いを感じながら発音や旋律を工夫して歌おう。 | ●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 ○イタリア歌曲 ○カンツォーネ | 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 |
| | 10 | 箏の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう | ●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。 | 箏の基本的な奏法を身に付けて演奏する。 箏の音色や音階を生かした旋律を創作する。 | [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら伴奏と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 [知] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 | 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 | 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 |
| | 11 | 「アイーダ」オペラに親しみ、その魅力を味わおう | ●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 「オペラ」について理解する。「アイーダ」の物語を理解し音楽との関連を感じ取って鑑賞する。オーケストラの役割を理解する。 | [知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○ジュゼッペ・ヴェルディ ○アイーダトランペット ○オペラ ○オーケストラ ○オーケストラピット | 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |
| | 11・12 | 「自由曲」曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう | ●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 各クラスで選択した「自由曲」を通して混声3部合唱に取り組む。パート編成や指揮法を学ぶ。音取り、合唱。 | [知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 | 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 |

